

5 本時の計画

(1) ねらい

音色、旋律、ジャズのリズムの特徴や反復などの構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、提示した絵や写真の様子を、ジャズのリズムを用いてどのようにして旋律で表すか思いや意図をもつことができる。  
〔思考力、判断力、表現力等〕

(2) 学習過程（本時 3 / 4）

過程	思考の流れと学習活動の流れ	時間	・指導の手立て ◇ ICT の活用 評価
導入	1 学習内容を把握し、本時のめあてを確認する。  【めあて】 絵や写真から聞こえてきそうな旋律を、ジャズのリズムを用いてつくろう。	5	・本時の活動の手がかりとなるよう、前時までの学習内容について触れたり、振り返りに触れたりして、見直しをもたせる。 ・時間を意識して活動できるよう、授業の流れを提示する。 ◇振り返りが可視化できるよう、電子黒板に写す。
展開	2 個やペアで旋律をつくる。  <div style="display: flex; justify-content: space-around; text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; width: 20%;">                     楽しくスキップしている感じを、付点音符で表現したい。                 </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; width: 20%;">                     動きがちよっと止まってしまった感じを、休符を挟んで表現したい。                 </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; width: 20%;">                     仲良く会話している様子を、反復で表現したい。                 </div> </div>	15	◇タブレットの「Muse Score」を活用し、知覚・感受したことを旋律で表すことができるよう、データを送信する。 ・創作するための条件を示す。 ①和音進行は変えない。 ②反復などの構成を入れる。 ③旋律はオクターヴ内の12音を用いる。 ④付点音符やシンコペーションのリズムを必ず入れる。 ・活動が滞りそうな場合は、教師が創作した作品を提示する。 ・確認しながら創作できるよう、再生をし、手直しをするよう伝える。
整理	3 創作した音楽をグループで交流し、創作する条件をもとに感想やアドバイスを述べ合う。	10	・ペアで創作した音楽について、どのような視点で創作したかを示すことができるよう、話型を用意する。  【話型】 (絵や写真の様子)について、思いを表現するためにこのような意図で作りました。
	4 ユニークな創意工夫をしている個やペアを取り上げ、全体で共有する。	10	◇ねらいの達成ができるよう、一工夫入れているグループを意図的指名し、楽譜を電子黒板に写す。 ・どのような思いや意図をもって創作したか問いかける。
	5 グループでの感想やアドバイス、全体で共有したことをもとに、ペアで再考し、まとめる。  <div style="display: flex; justify-content: space-around; text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; width: 20%;">                     付点音符だけでなく、シンコペーションを使おう。                 </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; width: 20%;">                     弾みすぎている感じがするから、休符を入れて落ち着きたいな。                 </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; width: 20%;">                     生き生きとした感じを出すために、リズムをアレンジしたいな。                 </div> </div>	5	・試行錯誤する箇所を1小節に絞り、まとめる時間を保障する。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     絵や写真の様子を表現するために、創作の条件を効果的に用いたり、グループでの交流を通して試行錯誤したりするなどして、ジャズ風の旋律を思いや意図をもってMuse Scoreに表している。                      (観察、作品)                 </div>
	6 本時の学習を振り返る。	5	・次時では、旋律を完成させ、発表会を行うことを伝える。

(3) 授業研究の視点

- ・秋田の探究型授業を自立的に進めるための手立ては適切であったか。
- ・授業の各段階におけるICTの活用は効果的であったか。